

2年続きの書面決議での定期総会 全3議案が可決、堀内理事長を再選

新型コロナの感染者急増でやむなく2年続きの書面決議になった「どんぐりs」第14回定期総会は、5月22日に議決権行使書を集計、第1号議案会（2020年度活動、決算、監査報告）、第2号議案（21年度活動方針、同予算）、第3号議案（役員選出）の3議案を反対ゼロで承認可決した。会員から郵送などで寄せられた議決権行使書と委任状の数は、総会成立に必要な会員の半数22人を上回る計34人にのぼった。

役員選出では、本人の意向で理事を退任した

采女秀世さんに代わり、山口正恵さんが就任したほか8理事、2監事が再任となった。集計後の理事会で全会一致で堀内泰理事長を再選した。21年度活動方針では、「生き甲斐や活気あふれるまちづくりに貢献していきたい」とコロナ対策を配慮しつつ活動を進めることを強調している。議決行使書に添えられた会員の意見には、「自然と共生したまちづくり」への賛同や「さらに多くの市民と協働活動の推進」など前向きの励ましが多かった。
(明賀 雄二)

理事長から

コロナ禍の活動に思う

この一年を振り返ると、コロナにしばしば翻弄され、活動が思うようにできなかった。緊急事態宣言による会場の急遽閉鎖で会議や幾つかのイベントを中止せざるを得なかった。ただ、主な活動の高森山整備や楽農会は、現場が山や畑なので比較的制約されずに済んだのは幸いであった。

新型コロナウイルスは、疫病と同じで数百年に一回発生するようなものだが、その時代にはすぐに対処療法が分からないから厄介だ。それも感染したら命に関わる故、傍観できない。国の施策がチグハグで、常に後手に回り、混乱を招き、不安を助長している。自国のワクチン開発が遅れ、接種予約も大人数が殺到するのでスムーズにいかない。大阪の高齢者予約で、2万5千人分がたったの26分で終了したのは驚きだ。ネット等慣れない人には、電話予約しかなく簡単に繋がらない中、必死なことが如実にあらわれている。

昨年来のコロナ禍で、いくつか考えさせられることがあった。新型コロナの発生起因について諸説あるが、人間の自然破壊も一要因

ではないのか。効率と便利さを求めて密林等の開発を続け、地球環境を変えることは、未知のウイルスにも遭遇することになる。自然と共生し互いの領分を守ることが大事であり、文明のあり方を見直す時期にきていると思われる。また、あってはならない人の差別にも波及した。不急不要ではなく感染者の多い都市から地方に行った人が迷惑がられ、非難されたこともあった。一方、コロナを収束させるには、強権的な全体主義の方が早いのではないかとの意見も出ていた。一時の感情的ないらつきであり、大事な民主主義の危うさも感じることもあった。加えて、最も難しいのは感染意識で、個人の考え方に温度差が大きいことである。

そのためコロナ禍の中では、どんぐりsの活動も悩むことが多い。色々な意見を聞き、バランスを取らざるをえない。この状況下、できない理由を挙げ、何もしないことは一番通りやすいが、安易すぎるので避けたい。長期に亘る充満した閉塞感の暮らしを少しでも明るくしたい。それには、イベントの形態や規模等で、リスクを避ける「できる方法」を探し出し、活動することだと思っている。

(堀内 泰)

「どんぐりsカフェ」7月に再開

田島元中日新聞編集局長が講師に

昨年の1月以来、コロナ感染対策で休止していた「どんぐりsカフェ」を1年半ぶりに再開します。日時は7月24日（土）午後1時半から4時まで。講師は元中日新聞編集局長、田島暁さん（石尾台在住）で、「新聞よ がんばれ」の題で新聞界の厳しい現状や推移を語っていただきます。会場はサンマルシェ南館1階の「東部ほっとステーション」。参加費200円。参加される方はマスクをお願いします。

ワクチン接種、かすかなだるさも

このほど名古屋市中区80歳以上高齢者の優先枠で2回目のワクチン接種を終えました。心配された注射の痛みもなく、かすかな後遺症（だるさ）はあったものの、日常生活に支障はありませんでした。会場の中区保健センターには大勢のスタッフが配置され、説明・案内も適切で、混乱は見られませんでした。まずは一安心といったところですが、医療従事者や基礎疾患を持った方でも接種未了の方が大勢おられるとのこと。胸が痛みます。（藤城 栄一）

私の朝・昼・晩

フランス・ニース一人旅②

今回の旅行の第一の目的は絵の題材を求めです。ニースについての翌日、ネット予約しておいた日本人ガイドさんと朝から、近郊のいわゆる「鷲の巣村」を尋ねました。ニースは海岸の町ですが、ほんの20分ほど車で走ると山岳地帯に入り、その中に、まるで止まり木のように、古い村が崖壁にくっついて佇んでいます。その代表が「ペイヨン」（写真）で、観光化されていない孤高の村です。車で近づくにつれ、目を疑うばかりの景色が現れました。その景色をスケッチした後、村の中を散策し、裏道に回って高台から見た景色も、朝日の逆光の中に浮かび上がった神々しい、これこそ本物だ！と叫びたくなるほどの姿を見せてくれました。

3日目は市内観光、4日目は大雨の中、シャガール美術館に行き、5日目は先回書いた港町の散策と骨董市、6日目は少し離れトゥレッ

新理事の山口正恵です、よろしく

総会の日5月22日は偶然にも国際生物多様性の日でした。先人が残してくれた高森山を多くの動植物が生き生きとして、市民が足を運びたくなる里山にしたいと思っています。多くの皆様の参加をお待ちしています。

「どんぐりs」リーフレット出来ました

「高蔵寺どんぐりs」に改名して初のリーフレットを作成しました。本会の目指すもの、部会の「魅力ある高森山公園をつくる会」「生き生き楽農会」などを分かりやすく紹介しています。

すまい困りごと無料相談

●電話または直接面接会場にお越しください
☎080-5297-8956（長谷川）
面接相談会日時；6月13日（日）、7月17日（土）
（ともに13：30～15：30）
会場；東部ほっとステーション
（サンマルシェ南館1階）

ハート・ほっと・ルーム

日時；6月27日（日）、7月25日（日）
（ともに13：30～15：30）
会場；東部ほっとステーション
参加費；無料
連絡先；☎090-6330-4393（浪川）



ト・シュル・ルーやサン・ポール・ド・ヴァンスなどの有名な「鷲の巣村」を訪れ、それぞれ個性的な勇ましい姿を堪能しました。

今回の旅は、すべてフリーでしたが、何より地中海地方の中心であるニースの地にじっくりと腰を下ろし、山岳の村という特殊な美しい村を十分に満喫し素晴らしい経験ができた旅だったと思っています。（長谷川 光男）